

本時の見どころ

地理的分野では、単元を貫く課題を「熱帯林が減少しているのはなぜだろうか?」と設定し、森林破壊と環境保全の視点から南アメリカの地域的特色を追究することに「地理」的意義があると考えました。特に、本時では、「バイオエタノール」という教材が備える「意外性」や持続可能な開発という「課題性」に着目し、言語活動を引き出す中心発問を「ブラジルではこれからもサトウキビを使ってバイオエタノールを作り続けるべきだろうか?」とし、集団思考・表現交流過程を通してアプローチします。その際、「サトウキビの実物提示、G Tの話」などの手立てを行い、イメージをふくらませます。このときの生徒のようすから「意義がわかった」ことを見取ることができると考えます。

社会科（地理的分野）学習指導案

日 時 平成 27 年 11 月 25 日（水） 第 2 校時
場 所 体育館卓球場
年 組 南関町立南関中学校 1 年 1 組
男子 21 名 女子 18 名 計 39 名
指導者 南関町立南関中学校 教諭 渡邊保博

1 単元名「南アメリカ州」 (帝国書院 社会科・中学生の地理 P90～99)

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領「内容」(1)の「世界の様々な地域」ウ「世界の諸地域」にあたる。南アメリカ州に暮らす人々の生活を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて地域的特色を理解させるものである。

ここでは、主題を「南アメリカの森林破壊と環境保全」として、生徒に追究させる。この州は、現在、12の独立国と仏領ギニアから構成され、面積は全陸地の約12%、人口は総人口の約6%である。住民の人種構成は、先住民や混血など極めて多様である。15世紀には、ポルトガルとスペインがこの州を植民地化し、豊富な資源と安価な労働力で莫大な利益を得た。その後、19世紀に独立はしたが、不平等な社会の構造が残り、外国資本からの支配を受け続け、農作物中心のモノカルチャー経済が強化された。その結果、南アメリカ州は近代化が遅れ、アフリカに次ぐ貧困地域となっている。近年、モノカルチャー経済からの脱却を図り、特にB R I C Sの一つでもあるブラジルの工業化及び人口の規模や経済成長から重要な市場として注目を浴びている。また、ブラジルのアマゾンの熱帯林周辺では、大豆などの作物の他にサトウキビを栽培し、砂糖だけでなくバイオエタノール製造も行っている。

そこで、本単元における「熱帯林が減少しているのはなぜだろうか」という主題は、生徒に課題意識を持たせ、南アメリカ州の地域的特色をつかませるのに有

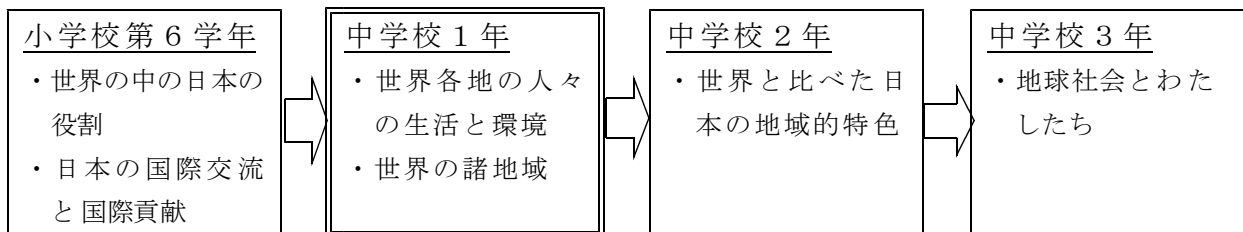
効であると考えた。また、環境問題は、日本を含めた世界全体の課題であり、持続可能な開発の大切さについて考えさせる上でも有意義な単元である。

【研究テーマとの関連：教材選択の条件】

現在、日本を含め世界的にも地球温暖化を抑えるなど環境保護の意識が高まっている中で、ブラジルにおける熱帯林が減少している状況を取り扱うことは、生徒に問題意識をもたせ、追究意欲を起こさせる「課題性」のある教材であり、他の諸地域でも転移できる課題である。

また、本時で扱うバイオエタノールは、二酸化炭素の排出を抑えることができる反面、熱帯林減少の原因になるという「意外性」を含む教材であり、生徒の追究意欲を高めることができると考える。

(2) 系統観



(3) 生徒観（男子21名、女子18名、計39名）

本学級は、明るく活発で様々な活動を意欲的に取り組む生徒が多い。また、自分の意見を持ちしっかりと伝えることができる生徒も多いが、積極的に挙手して発表する生徒は少ない。標準学力検査の結果では「思考・判断」「資料活用」「知識・理解」の3観点で全国平均よりやや低い。課題に対して、身につけた知識をもとに自分が考えたことを表現する活動を授業で位置づけ、継続して指導を行うことでさらに伸びる集団になると考える。

また、本単元に関するアンケート結果は以下の通りである。（39名中）

- ①「社会科は好きですか。」
 - ・とても好き（8）
 - ・どちらかというとき好き（24）
 - ・どちらかというとき嫌い（7）
 - ・とても嫌い（0）
- ②「社会科が好きな（嫌いな）理由はなんですか。」
 - 楽しい（10）
 - 歴史に興味がある（4）
 - いろいろな国のことが分かる（4）
 - 歴史を知ることができる（3）
 - 世界で起きている出来事に興味がある（2）
 - 暗記しなければならない、覚えきれない（5）
 - 興味がない、わからない（2）
- ③「どんな形態の学習が好きですか。」（複数回答）
 - ・講義形式（15）
 - ・話し合い活動（9）
 - ・色塗りなどの作業（14）
 - ・映像などの視聴（24）
 - ・ワークシートへの記述（12）
- ④「南アメリカ州の国で、知っている国を書いてください。」

正答：ブラジル（37）、チリ（33）、アルゼンチン（25）、コロンビア（19）、ペルー（12）

誤答：メキシコ（8）
- ⑤「南アメリカ州にどんなイメージを持っていますか。」

- ・サッカーが強い ・暑い ・サンバ ・大陸に赤道が通っている
 - ・日本の反対側 ・日本と季節が逆 ・黒人が多くいる ・大草原
- ⑥「あなたは、環境問題に関心がありますか。」
- ・とてもある（3） ・どちらかというところある（22）
 - ・どちらかというところない（12） ・ない（0）
- ⑦「あなたが知っている環境問題は何ですか。」
- ・地球温暖化（30） ・オゾン層の破壊（14） ・砂漠化（14）
 - ・熱帯林の減少（13） ・酸性雨（13） ・野生生物の減少（12）

社会科に対して好きと感じている生徒が8割を占めており、意欲的に活動する生徒が多い。南アメリカ州について、位置的な関係や気候、サッカーが強いなど認識している生徒が多かったが、農業や工業などの産業面に関する知識は十分ではない。また、環境に対して関心があるものの、用語を知っている程度である。そこで、正しい知識を身につけさせるとともに、映像資料などを活用して興味関心を高め、より多面的・多角的な視点から課題解決ができるように資料の精選や調べ方の工夫を図りながら学習を進めていく。

(4) 指導観

本単元の指導にあたっては、次の点に留意する。

- ・地図帳や資料集などの資料を読み取る時間を十分にとり、多面的・多角的に考察する過程を設け、思考力・判断力・表現力の育成を図りたい。
- ・地形や気候に関する南アメリカ州の特色を、世界の他の地域と比較しながら考察させたい。
- ・支援を必要とする生徒への手だてとして、考察がしやすいようなワークシートの工夫を図る。
- ・考察の過程においては、個人で活動する場面からグループで活動する場面へと広げ、さらに個人の活動へとかえることで、より深い考察ができるようにする。
- ・GT（ゲストティーチャー）の話を聞くことで、学習内容をより身近なものとして認識させ、理解を深めさせる。
- ・この単元で取り扱う環境問題は公民的分野の内容につながっており、現地に住む人々だけの問題ではなく、私たち日本人の生活とも大きく関わっていることを意識させるようにする。

3 単元の目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	・南アメリカ州の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観する中で、アマゾンの熱帯林の減少と環境保全への取り組みについて、意欲的に考えさせる。
社会的な 思考力・判断力・表現力	・南アメリカ州の経済成長の理由や背景を、産業の変化の面から説明させる。また、アマゾンの熱帯林の減少と環境保全に

	ついて、様々な資料から考えさせる。
資料活用の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州の主題図や写真などの資料から、南アメリカ州の地域的特色について有用な情報を適切に選択させる。 ・選択した資料から読み取った情報を、文章にまとめたり発表したりして、表現する力を身につけるさせる。
社会的事象についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・南アメリカ州について、豊かな自然環境や様々な産業の発展について概観し、それぞれの基礎的・基本的な知識を理解させる。 ・南アメリカ州について、「環境問題」の学習テーマをもとに地域的特色を理解させる。

4 単元の指導計画及び評価（規準）計画（全6時間、本時6／6）

次	時	主な学習活動	評価
1	1	<p>「南アメリカの多様な自然環境」</p> <p>○南アメリカの自然について、資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図、雨温図などから、南アメリカの自然の特色を読み取っている。 【資料活用の技能】 ・「熱帯林の減少」の要因について、意欲的に追究しようとしている。 【関心・意欲・態度】
<p>【単元を貫く課題】</p> <p>熱帯林が減少しているのはなぜだろうか？</p>			
2	1	<p>「南アメリカの歴史と文化」</p> <p>○南アメリカの人種や文化、生活について、写真やグラフなどの資料から読み取り、基礎的・基本的な知識を身につける。</p> <p>○G Tの話から日系移民の生活を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・植民地支配の影響によって見られる南アメリカの文化を具体的にあげている。 【知識・理解】
3	1	<p>「南アメリカの農業」</p> <p>○ブラジルの農業の変化を、本文や資料から読み取る。モノカルチャー経済について理解し、その対応策やそれに関する環境への影響について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフから南アメリカ州の農業の変化を読み取り、大豆や牛肉、さとうきび増産の背景を考え、自分の意見を表現している。 【思考・判断・表現】
4	1	<p>「南アメリカの鉱工業」</p> <p>○南アメリカの鉱工業の発達を、グラフなどの資料から読み取り、ブラジルの工業化について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや写真から、南アメリカ州の鉱工業の発達を読み取り、その背景を考えて自分の意見を表現している。 【思考・判断・表現】
5	1	<p>「ブラジルにみる環境問題と対策」</p> <p>○南アメリカの地域的特色をふまえて、熱帯林が減少している理由について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アマゾンの熱帯林の開発について、これまでの学習をふまえて、資料をもとに自分の考えを論述し、意見交換をしている。 【思考・判断・表現】
	1 (本時)	<p>「ブラジルにみる環境問題と対策」</p> <p>○「サトウキビを使ってバイオエタノールを作り続けるべきだろうか？」について、資料をもとにして考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アマゾンの熱帯林の開発や保全の視点から、バイオエタノールを作り続けるべきかについて、資料をもとにして自分なりの考えを持っている。 【思考・判断・表現】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

アマゾンの熱帯林の開発や保全の視点から、バイオエタノールを作るべきかについて、資料をもとに自分なりの考えを持つことができる。

(2) 本時の展開

課程	時間	学習活動	学習形態	教師の指導と支援	教材資料等
導入	5	1 これまでの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。	一斉	○単元を貫く課題について、自分で考えた意見を確認する。	電子黒板 P C
		熱帯林が減少しているのはなぜだろうか。			
展開	5	2 サトウキビからバイオエタノールが作られていることを知る。	一斉	○今まで学習した内容とバイオエタノールのつながりを確認する。	サトウキビ
		ブラジルは、これからもサトウキビを使ってバイオエタノールを作り続けるべきだろうか。			
	25	3 バイオエタノールを作り続けるべきかを考え、発表する。	個人 ↓ 班 ↓ 一斉	○資料をもとに自分の考えを持ち、根拠が説明できるように、生徒の活動の見取りを行い、必要に応じて支援を行う。 ○意見交換をするときに、これまでの自分と比較して考えるように指示することで、自己変容に気づかせる。	ワークシート 資料
	8	4 G T の話を聞く。	一斉	○学習してきた内容をふまえて、持続可能な開発の大切さについて話をしてもらう。	電子黒板
まとめ	7	5 本時の学習のまとめをする。	一斉	○G T の話をふまえ、環境問題は日本を含めた世界全体の課題であり、持続可能な開発の大切さに気づかせる。	ワークシート 【評価】

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価	A：様々な資料をもとにして、持続可能な開発の視点を入れてバイオエタノールを作るべきかについて多面的・多角的に表現している。 B：様々な資料をもとにして、バイオエタノールを作るべきかについて多面的・多角的に表現している。

